

ふるさと小坂を愛する子どもたちの育成を目指して～地域と学校が一体となった取組～

基本情報

学 校

小坂町立小坂小・中学校

学校運営協議会

小坂町学校運営協議会

(令和3年4月1日 設置)

委員構成

- ・元学校教育関係者
- ・地域学校協働活動推進員
- ・民生児童委員
- ・元自治会連絡協議会委員
- ・保育園長
- ・保護者代表
- ・校長、教頭 など 10名

会議回数

年間3回程度

地域学校協働活動推進員

()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員3名(2名)

地域コーディネーター 1名(0名)

※小坂町教育委員会地域学校協働活動担当

地域学校協働本部

小坂町地域学校協働本部

背景・取組概要

小坂町はかつて鉱山の町として発展し、最盛期には秋田県内第2の都市として栄えたが、鉱山の閉鎖に伴い人口は激減し、町存続の危機となった。そのような中、令和3年4月、小中一貫教育の充実を図り、子どもたちの9年間の義務教育について保護者や地域住民と協議する場として学校運営協議会を設置した。少子高齢化が顕著な町だからこそ、学校と地域が一緒になり子どもたちのためにできることを学校運営協議会において協議している。

学校運営協議会発足時から「子どもたちの関心がテレビやSNSに向かい、地元の人と話す機会や、地元のよさを感じる機会が少なくなっている」ことについて話題となることが多かった。そこで、**学校運営協議会と地域学校協働本部及び小・中学校が一体となり、地域の声を取り入れ、地域とつながり、地域住民と子どもたちが関わり合う活動を展開することで、ふるさとを愛する子どもたちを育成することができる**と考え、本実践を行うこととした。

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆学校運営協議会

- 年3回学校運営協議会を実施し、子どもたちや学校の状況・課題、その改善策等について**当事者目線で意見を出し合っている**。
- 第2回学校運営協議会（秋に実施）において、地域学校協働活動関係者、学校職員等が出席し**熟議を実施**している。令和4年度熟議のテーマ「小坂の子どもたちにどのように育てほしいか」の際には出席者から「ふるさとを愛してほしい」「地域に貢献してほしい」などの意見が出された。

◆地域学校協働活動

- 学校運営協議会や熟議での意見を基に**、ふるさとを愛する子どもを育てるため、地域住民と学校が一緒になった地域学校協働活動を次のとおり行っている。
- 伝統芸能である「小坂音頭」を学校支援ボランティアが練習から熱心に指導し、運動会当日には、**子どもたちと共に、地域住民や保護者が参加して、大きな踊りの輪をつくり上げた**。
- ふるさと小坂のために生徒ができることを考える総合的な学習の時間「小坂町活性化アクションプロジェクト」に、地域住民、保護者、町役場職員等の多くの人材が協力した。その成果を町文化祭と同時開催している学校祭で披露し、**称賛されたことで、子どもたちの自己肯定感の向上が見られた**。
- 地域住民と子どもたちが共に花壇を整備する「フラワーデー」を実施している。「明治百年通り」や老人ホーム等、地域の花壇に植栽したりプランターを設置したりするなど**活動に広がりが見られた**。

◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施

- 地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員**となり、地域学校協働活動の現状や課題を協議会で伝えたり、協議会で話題となったことを地域学校協働本部関係者や学校支援ボランティアに伝えたりしながら、よりよい活動になるよう努めている。
- 学校内に地域学校協働活動推進員等のためのボランティアルーム「パレット広場」**を設けている。毎週金曜日に推進員が常駐し、学校職員と地域学校協働活動等についての打合せを行っている。



運動会での「小坂音頭」



「フラワーデー」の実施

成果・効果

令和6年度前期学校評価アンケートで「小坂のよさを感じ、小坂町が好きである」に肯定的な回答をした児童生徒が94.3%、「地域の人たちが指導してくれる学校や地域の活動が楽しい」に肯定的な回答をした児童生徒が92.8%と、極めて高い割合であった。また、令和6年度全国学力・学習状況調査で「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に肯定的な回答は中学3年生徒で82.1%であり、全国比+6.0ポイントであった。**地域のよさを感じたり、地域に貢献したいと考えたりする児童生徒の割合が高く、活動の成果がうかがえる**。

地域住民からは、「子どもたちが地域のためにがんばっている様子に元気をもらっている」「学校支援ボランティアとして学校を訪れる機会が増え、子どもたちと活動することによって、子どもたちから元気をもらっている」などの声が多くなり、この取組が**地域に元気を与えるものとなっている**。

小坂町教育委員会

小坂町学校運営協議会

※協議会を年3回開催

- ・元学校教育関係者
- ・民生児童委員 ・ 保護者代表
- ・元自治会連絡協議会委員
- ・保育園長 ・ 校長、教頭 など
- ・ **地域学校協働活動推進員**

小坂小・中学校

学校目標

「生きる力」と「ふるさとを愛する心」
をもった児童生徒の育成
～つながり、かかわり、豊かに学ぶ～

学校運営協議会委員関係施設・団体等

保護者

小坂小・中学校
地域学校協働活動

- ・朝の登校見守り
- ・校内外環境整備
- ・授業での学習支援
(正課クラブ、町探検、家庭科実習、
社会科校外学習、水泳・スキー授業
など)
- ・読み聞かせ
- ・本の消毒作業
- ・小坂音頭の指導
- ・フラワーデー
- ・学校花壇整備
- ・子育てリユース事業
- ・福祉授業(車椅子体験)
- ・小坂町活性化アクションプロジェクト
- ・昔遊び集会 など

小坂町地域学校協働本部

※推進会議を年3回開催

- ・地域コーディネーター(町教育委員会地域学校協働活動担当)
- ・小坂小・中学校統括教頭(地域連携担当)

地域学校協働活動推進員

※毎週金曜日、小坂小・中学校のボランティアルーム「パレット広場」に常駐

学校支援ボランティア

- ・地元各自治会
- ・おりの会
- ・世代をつなぐ会
- ・人権擁護委員会
- ・社会福祉協議会
- ・老壮大学
- ・おはなしボックス
- ・フラワーボランティアの会 など

地域住民等

主な取組の様子



学校運営協議会において、地域学校協働活動関係者、学校職員等が参加した熟議。ファシリテーター(司会等の運営)は、町教育委員会地域学校協働活動担当や県教育庁社会教育主事が担当。



学校支援ボランティアが、5年生の家庭科の授業(ミシン、アイロンがけ)をはじめ、多くの学習を補助。学校支援ボランティアの募集は、小坂町教育委員会が担当。



学校内に地域学校協働活動推進員等のためのボランティアルーム「パレット広場」を設置。地域学校協働活動推進員が毎週金曜日に常駐することで、学校職員との定期的な打合せが可能に。